

ある。予は實驗したるに如何なる兒童でも、よく寝るものである。其實験を左に、

三歳になる小兒、夜ひるの別なく始終母の乳房に絶り、夜は特に乳房を口に入れなければ決して眠らないと云ふしまつ。そこである夜、之れは予が傍に居て母をして言はしめた。子供の將に眠らんとする時、子供の耳に母の唇をあて、

「汝はお母さんの乳を何時も絶つてはいけない」「わんなに乳をいらふと乳は呑ませませんよ……明日から決して乳房に絶るではありません」尚ほこの外其不心得を懇にとき、命ずるが如く諭すが如く、ごく熱心に暗示した。

ところが、翌朝其小供は、母の乳房に以前の如く絶らない、故に其夜も前夜と全様に暗示した。それで全く其癖は止んでしまつた。

其外厭な夢を見る癖、うなされる癖、駢をかく癖、口を開いて眠る癖尙ほ第一の覺醒時に行ふ暗示の場合に擧げたる諸癖及び、諸習慣は多くこの暗示法で矯正する事ができる。それらは前述せし所を以て推察するに足ると思ふから、茲には述べない。

(完)

小供の家庭教育 (承前)

(ハワード嬢談話)

● 獨立の生活 世界各國の婦人中生活のために働くことでは英國人に及ぶものは有りませぬ、身分のある人程生活の爲めに働かざるものでも決して良人に計り頼寄つて居ない、夫れから女子を教育するには必ず獨立して生活し得るやうな方法を講ずる、先づ將來獨立する爲めの第一は何

んであるかと云ふと料理法です、夫れに次いで裁縫、圖畫、看護法、音樂之れ等は是非女子に修養させべき手藝として肝要なものは自身で生活する、もせよ早く他へ嫁がないものは自身で生活する、決して成長した婦人を遊ばして置くと言ふ事はしないのです

○手藝の教育 英國では女子に必ず手藝の教育を施しますから卒業した上は夫々社會の需に應じて働き決して何時までも親に養つて貰ふ事を望みません夫れ故嫁入の支度でも親の世話にならず自分で調達するし中には充分の貯金もあり財産も出來て嫁入りします夫れ故一朝不幸にして良人に死別れる様な事があつても路頭に迷ふ杯の事は滅多にありません立派に生活を立て、往かれるから手藝は女子に取つて尤も大切な事と思はれます日本

でも近頃は女子教育に重きを置かれ手藝を教授する學校もありませんが之れは誠に喜ばしい事、私は世界各國の婦人に向つて手藝の教育は熱心に御勧め申したいのであります

○家庭と手紙 夫れにモ一つ女子の教育上大切なのは家政學です家を治める事を知らなかつたら女子は家庭に不慣れた者となりましやう樂しき家庭を作るも不愉快な家庭に終るも多くは女子家政の能力如何にある事ですから女子は殊に注意して研究されん事を望みます且つ一生の間には思はぬ不幸を來すことがあり何んな零落に陥ぬらぬとも限りません此場合に當つてヨシ婦人に獨立の生活が出来る丈の手腕があつたにして家政の道に堪能でなかつたら一家を貧苦の淵より救出す事も出来ず途には内助の功を空しくして面白くない家庭に

日を送らなければならぬ之れでは婦人としての天職を盡す事が出来ぬ斗りでなく此上もない女子の不面目と云はなければなりません猶家政と共に是非研究して頂きたいのは手紙を書く稽古です之は男子の忽せに出来ぬと同じく女子にも必要なくとで西洋では特に練習させます、事理も分るやうに、手蹟も美事に早く認めると云事は美德の要素です

○料理法 女子の手藝として料理法に重きを置しは獨立の生活を圖る爲の手段計りではない料理の趣味はナカ／＼面白い者で殊に一家の妻君となつた時家庭に於て直ぐに必要を感じるのは料理であります衛生料理の關係ある事は申す迄もないが、愉快なる食事の時間を作るのは全く料理の興つて力ある事です從て家庭も面白く圓滿に斯な樂

い事は有ますまい其他悪い事を願うのではありませんが病人のある時杯料理法に詳しくなかつたら非常な不都合を來すでしやう、料理と云つたつて唯旨く煮る計りが能ではない、料理に作る原料の善悪から素質の成分を研究して之れは病人に適する食物か不適當な料理かと云ふ事の區分鑑別が出来るやうでなければ料理法に詳しいとは云はれません、斯の如くして料理された食物は必ず病人の救けとなつて病の恢復も早い……料理をすると云つたつて始終臺所へ入つてゐる譯ではありません……未だ家庭の談話は澤山ありますが後日を期してお咄し仕ましやう(了)。